

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2022年3月期 第1四半期

2021年8月2日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 主な医薬品の売上推移	P 3
III. 新薬開発状況（自社）	P 4
IV. 新薬開発状況（導出）	P 4

注記

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。前連結会計年度の連結経営成績等につきましては収益認識会計基準等を遡及して算出しておりませんので、当第1四半期連結会計期間の連結経営成績等に対する前年同四半期増減率につきましては参考値です。
- ・本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2021年8月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、13,924百万円（前年同期比5.3%減）となりました。前連結会計年度に引き続き、コロナ禍において感染防止に十分配慮した上での医薬情報活動の中、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25 μ g/50 μ g」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60 μ g/120 μ g/240 μ g」及び「デスモプレシン製剤」などの売上が増加いたしました一方、本年4月に実施されました薬価改定の影響及び輸出売上が減少いたしましたことなどにより、減収となりました。なお、本年6月には、株式会社三和化学研究所との間で二次性副甲状腺機能亢進症治療薬「ウパシタ静注透析用シリンジ」につきまして、同社による同月での承認取得を受け、日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結し、現在、両社にて医薬情報活動を開始しております。

情報サービス事業の売上高は1,869百万円（前年同期比145.2%増）、建設請負事業の売上高は691百万円（前年同期比47.9%増）、物品販売事業の売上高は150百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、従前の会計処理と比較して、医薬品事業の売上高は7百万円増加、情報サービス事業の売上高は147百万円増加、建設請負事業の売上高は212百万円増加、物品販売事業の売上高は37百万円減少しております。

・利益の状況

利益面では、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益、経常利益は減益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上などにより増益となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、従前の会計処理と比較して、営業利益、経常利益はそれぞれ74百万円増加しております。

・研究開発の状況

本年5月に、EAファーマ株式会社と共同開発を行っております潰瘍性大腸炎治療薬カロテグラストメチル（一般名、開発番号：AJM300）につきまして、同社から承認申請が行われました。また、本年6月には、当社がライジェルファーマシューティカルズ社（アメリカ）より技術導入し、国内にて第Ⅲ相臨床試験を実施中の慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬ホスタマチニブ（一般名、開発番号：R788）につきまして、韓国における開発権及び販売権をJWファーマシューティカルズ社（韓国）に許諾するサブライセンス契約を締結いたしました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2021年3月期		2022年3月期			
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想	うち上期
売上高	16,061	69,044	16,635	3.6%	63,500	31,500
医薬品事業	14,700	56,407	13,924	△5.3%	53,000	26,200
医薬品	12,686	48,140	12,010	△5.3%	45,500	22,400
ヘルスケア食品	909	3,726	874	△3.8%	3,600	1,800
その他*	1,104	4,541	1,039	△5.9%	3,900	2,000
情報サービス事業	762	8,489	1,869	145.2%	6,300	3,000
建設請負事業	467	3,538	691	47.9%	3,700	2,000
物品販売事業	131	609	150	14.1%	500	300
(売上高のうち輸出)	(1,135)	(4,600)	(1,086)	(△4.3%)	(3,900)	(2,000)
売上原価	7,802	36,322	8,769	12.4%	34,200	17,000
(原価率%)	(48.6)	(52.6)	(52.7)		(53.9)	(54.0)
売上総利益	8,259	32,722	7,866	△4.8%	29,300	14,500
販売費及び一般管理費	6,625	31,217	7,573	14.3%	31,900	16,300
研究開発費	1,720	9,626	2,189	27.3%	9,500	5,200
(売上高比%)	(10.7)	(13.9)	(13.2)		(15.0)	(16.5)
営業利益	1,633	1,505	293	△82.1%	△2,600	△1,800
営業外収益	546	2,154	645	18.1%	1,400	750
受取利息及び配当金	452	1,273	585	29.3%		
その他の収益	93	881	59	△35.9%		
営業外費用	10	183	174	—	100	50
支払利息	5	23	5	0.4%		
その他の費用	4	160	168	—		
経常利益	2,169	3,476	764	△64.8%	△1,300	△1,100
特別利益	2	4,087	3,531	—	6,000	6,000
特別損失	0	87	22	—	—	—
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,171	7,476	4,273	96.8%	4,700	4,900
法人税、住民税及び事業税	623	1,510	1,180	89.3%	1,200	1,300
法人税等調整額	△155	587	△579	272.0%	160	△220
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益(△は損失)	△22	93	28	△229.7%	40	20
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,725	5,285	3,644	111.2%	3,300	3,800

(包括利益)

(22,783)

(△1,373)

(—)

* : 国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）の合計額

Ⅱ. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	2021年3月期		2022年3月期			
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	前同比	通期予想	うち上期
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	1,764	7,024	2,047	16.0%	8,300	4,000
デスモプレシン製剤 ミニリンメルト、他*	619	3,464	1,068	72.5%	4,000	1,900
排尿障害改善薬 ユリーフ	1,095	3,671	777	△29.0%	2,900	1,500
高リン血症治療薬 ピートル	1,603	5,885	1,502	△6.3%	6,600	3,200
腎性貧血治療薬 ダルベオエチン アルファBS注JCR	1,197	4,883	912	△23.8%	3,500	1,500
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	1,164	4,416	1,070	△8.1%	2,900	1,500
糖尿病治療薬 グルベス	1,162	4,308	1,030	△11.3%	4,000	2,000
糖尿病治療薬 グルファスト	341	1,161	270	△20.9%	1,000	500
糖尿病治療薬 マリゼブ	462	1,547	358	△22.4%	1,700	800
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	421	1,526	386	△8.3%	1,400	700
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	216	791	205	△5.1%	800	400

* : ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスモプレシン点鼻液0.01%協和、デスモプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスモプレシン注4協和

Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

(2021年8月現在)

開発段階	一般名 ／開発番号	開発区分	予定適応症	主な作用等
承認申請中	アバコバン ／CCX168	導入品／ビフォー・フレゼニウス・ メディカル・ケア・リーナル・ファーム (スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用
	カロテグラストメチル ／AJM300	導入品／EAファーム 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用
申請準備中	ロバチレリン ／KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用
第Ⅲ相	ホスタマチニブ ／R788	導入品／ライジエルファーマシュー ティカルズ(アメリカ)	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシキナーゼ阻害作用
	ジフェリケファリン ／MR13A9	導入品／丸石製薬 共同開発	透析患者におけるそう痒症	κオピオイド受容体刺激作用
	CG0070	導入品／CGオンコロジー (アメリカ)	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法
第Ⅱ相	リンザゴリクス ／KLH-2109	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用
第Ⅰ相	KSP-0243	創製品	炎症性腸疾患	

※ 前回公表時（2021年5月）からの変更点： カロテグラストメチル… 申請準備中 → 承認申請中

Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

(2021年8月現在)

開発段階	一般名／開発番号	提携企業	実施国・地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	シロドシン (sildenafil)	エーザイ(日本)	ベトナム、他	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	欧州	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
第Ⅲ相	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	米国	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	欧州、米国	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシナバ(アメリカ)	米国	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用
	KDT-3594	アファメド(中国)	中国、他	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用

※ 前回公表時（2021年5月）からの変更点： ミチグリニド… 承認申請中（ベトナム） → 削除